

## 会 議 録

会議名	令和3年度 第9回 小金井市学童保育所運営協議会	
事務局	児童青少年課	
開催日時	令和3年12月23日（木）19時00分～19時40分	
開催場所	本町暫定庁舎第二会議室及びオンライン会議	
出席者	委員	鈴木委員長、下田副委員長、大澤委員、中山委員、鈴木委員、松川委員、田畑委員、田口委員、大島委員、大村委員、馬場委員、坊本委員
	事務局	野村学童保育係長（事務局）
欠席	沢村委員	
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 利用者アンケートについて (2) 来年度のプロポーザル実施に係る学識経験者について (3) 業務概要（仕様書）（案）、募集要項、評点表、審査基準について (4) その他 3 閉会	
配布資料	読み原稿	
議事	1 開会 ・鈴木委員長より挨拶、議題の紹介  2 議題  (市) 出席者がそろっていないため議題の順番を入れ替えた。  (2) 来年度のプロポーザル実施に係る学識経験者について  (市) 来年度のプロポーザル実施に係る学識経験者について、過去に、運営協議会側より推薦頂き、東京学芸大学の准教授を学識経験者として迎え入れて審査していた経過がある。 来年度のプロポーザル実施の際にも学識経験者を入れる形でよ	

	<p>いか。</p> <p>(学) 学識経験者の方の役割とは。</p> <p>(市) 経過も含めて説明する。学童保育所の運営事業所を選定するにあたり、市のプロポーザルガイドラインがある。審査にあたり、子ども家庭部の管理職が審査員となっている。市のガイドラインでは学識経験者は2人まで選ぶことが出来るとのルールがある。一番最初に委託化をする際、事業所を選ぶにあたり、市が責任をもって事業所を選定するため、市の管理職のみで選定した。その際、さわらび学童を受託した事業所が1年間で撤退した経過があった。</p> <p>その取扱いについて内部で再検討した際に、学保連側から学識経験者を1人入れて欲しいとの要望があった。</p> <p>市としてもガイドラインに2人まで入れられるとあったため、学保連側から推薦をされた方で、もともと学保連のメンバーであった方、かつ児童館の運営審議会の会長を務められた方を、学識経験者として迎えることに問題はないとなった。</p> <p>次の審査の際に依頼した学識経験者は、さわらび学童にお子さんを預けていた経験があり、市の他の審議会の会長を務めて頂いた方をお願いした経過があった。学識経験者の役割は、事業者を選定する審査員の役割となる。</p> <p>(学) 役割は理解した。審査をするにあたり、大学の准教授はどのような人なのか。何の専門家なのか。</p> <p>(市) 市から依頼した学識経験者は今まで2人。 1人目は、お子さんを学童に預けた経験があり、教育に関して専門の先生である。 2人目も、さわらび学童にお子さんを預けていた経験があり、かつ大学で子どもに関する研究をされており、知識がある方。 それぞれ学童に見識がある方に依頼していた経過がある。</p>
--	--

(学)

学保連側から推薦した方を学識経験者として入れていただくことは可能か。

(市)

可能である。

(学)

一度持ち帰らせて頂き報告したい。

(3) 業務概要（仕様書）（案）、募集要項、評点表、審査基準について

(市)

9/28の運営協議会の際に募集要項、評点表、審査基準を、10/26の運営協議会の際に業務概要（案）を示させていただいている。その後、意見がないか確認したい。

(学)

業務概要（案）、評点表など特に意見は上がっていない。

(学)

スケジュールをもう一度確認したい。

(市)

加配の部分について、資格のない方（補助員）の導入について、説明し、おおむねご理解を頂いていると認識している。

採用にあたり、いつのタイミングで補助員を採用するかのルールづくりをまだお示し出来ていない。そこを対応したい。

学識経験者については、変更がないと認識。

来月（1月）には委託料の予算が決まってくる。その内容が明らかになるのが2月市議会定例会になるので、最終的な案（変更点）を2月の運営協議会で示したい。3月末にはその内容でご了解を頂きたい。実際、新年度になったら説明会を実施するなど細かい日程を示したい。

(学)

再度仕様書（案）を早めに送って頂くことは可能か。

(市)

以前お送りしているものと変更はないと認識しており、変更部分としては、加配の部分の資格あり、資格なしをどう明確にするか。上限額は市議会を経ないと明らかにならないので、ご了解いただきたい。

(学)

承知した。

(1) 利用者アンケートについて

(市)

利用者アンケートについて、実施方法や頻度など、それぞれ意見を頂き、話し合いを重ねてきた。

前回の運営協議会において、事務局より今年度中のアンケートの実施が難しいとの結論に達し、次年度実施に向けて話し合いを継続させてほしいと提案し、了承頂いたところである。また、前回の議論の中で、次年度早々にでも計画したい、実施が年度末では意味がないなどいただいた。この他ご意見はあるか。

(学)

現時点ではアンケートの案は特にないが、いつ頃から議論しなければならないか。事務局の負担を考慮しながら、早めに出来るように要望したい。

(学)

可能性として、メールシステムでは設問数が少ないので、他のオンラインアンケートシステム導入は可能か。

(市)

庁内の状況も含めて改めて確認させて頂きたい。

(学)

市で実態を把握して対応するシステムができるとよい。

(学)

アンケートの回答率は50%くらいなので、仮にオンラインだと回答率が上がるのか。回答率を上げられるようお願いしたい。

(4) その他

次年度入所児童数の速報値については、まだ正確な数値が出ていないので、次回にさせて頂きたい。

3 閉会

次回の小金井市学童保育所運営協議会は令和4年1月25日（火曜日）19時を予定